

# コーパスを使った局面動詞の研究

廖紋淑

名古屋大学国際言語文化研究科大学院生

liaowenshu@yahoo.co.jp

## 1. はじめに

- ・局面動詞「～始める」、「～続ける」、「～終わる/～終える」の用法について
- ・使用するコーパス

(a) インターネットの www ページ(2005. 12. 26～2006. 1. 3 実施)

検索エンジン「Google」(<http://www.google.co.jp/>) のフレーズ検索を使用。

『日本語基本動詞用法辞典』にある 839 語について検索した。

(b) 日本語コロケーション抽出システム「茶漉」

(講談社ブックス、寅さんシナリオ、青空文庫、合計 2, 226 例を抽出)

## 2. 結果

表 1 wwwペ - ジ検索による調査結果

(839 語より抜粋)

動詞分類	V	辞書形	V+始める	V+続ける	V+終わる	V+終える	
外的運動動詞	書く	11,500,000	1,070,000	606,000	217,000	251,000	
	読む	6,650,000	1,180,000	271,000	1,110,000	935,000	
	持つ	18,900,000	441,000	890,000	65	18	
	眠る	528,000	3,834	23,163	5	0	
	話す	9,620,000	655,000	207,000	10	7	
内的 情 態 動 詞	思考動詞	考える	17,600,000	436,000	168,000	356	220
		思う	13,500,000	807,000	36,400	103	11
		祈る	4,310,000	894	53,600	486	333
		疑う	2,480,000	38,500	586	2	3
	感情動詞	悩む	3,260,000	48,600	108,000	182	37
		憧れる	5,190,000	247	27,800	9	0
		耐える	3,340,000	769	31,400	47	1
		諦める	1,830,000	769	61,400	21	2
		驚く	3,020,000	191	142	65	1
		静態動詞	存在する	64,200,000	692	127,000	32
在る	1,650,000		195	137,000	14	7	

表2 「茶漉」による調査結果 上位20語

順位	始める	tスコア	続ける	tスコア	終わる	tスコア	終わる	tスコア
1	し	13.341	し	5.996	読み	3.16	書き	3.871
2	書き	5.707	泣き	4.676	聞き	2.994	読み	2.999
3	読み	5.458	書き	3.988	れ	2.018	し	2.858
4	感じ	5.412	持ち	3.861	飲み	1.996	為し	1.732
5	歩き	4.859	話し	3.847	書き	1.995	聞き	1.414
6	なり	4.844	見	3.655	語り	1.73	語り	1.413
7	泣き	4.744	考え	3.627	食べ	1.413	踊り	1.413
8	れ	4.706	生き	3.13	聴き	1.411	飲み	1.411
9	動き	4.562	思い	3.064	言い	1.395	なし	1.403
10	鳴り	4.458	歩き	2.983	見	1.285	かき	1.000
11	見え	4.225	いい	2.638	し	1.242	もぎ	1.000
12	降り	3.815	笑い	2.603	すすり	1.000	移し	1.000
13	話し	3.773	言い	2.594	ぬぐい	1.000	演じ	1.000
14	飲み	3.708	云い	2.571	晒し	1.000	成し	1.000
15	語り	3.589	語り	2.444	食い	1.000	聴き	1.000
16	吹き	3.433	せ	2.372	聞き取り	1.000	つくり	0.999
17	思い	3.411	通い	2.233	かぎ	0.999	唄い	0.999
18	言い	3.315	読み	2.223	さばき	0.999	回し	0.999
19	持ち	3.266	れ	2.028	しめ	0.999	拭き	0.999
20	流れ	3.248	殴り	1.999	すい	0.999	数え	0.999

(tスコアは二つの単語の共起関係(相互の結びつき)の強さ(の確信度)を計る指標の一つ。MIスコアと比べ、単語の頻度も考慮に入れており、単語の頻度が少ない場合でも適切に判断できるといわれている。)  
(杉浦正利先生のHPより <http://sugiura3.gsid.nagoya-u.ac.jp/project/ouyougengogaku/tscore.txt>)

### 3. 外的運動動詞

表1でヒット数が多い場合、表2でtスコアも高い。(ex. 「書く」、「読む」)

「書く」、「読む」→「～始める」、「～続ける」、「～終わる/～終わる」のいずれとも共起する。  
「持つ」、「眠る」→「～終わる/～終わる」と共起しにくい。

行為の目的の達成	行為の目的が不明
食べ終わる→お腹がいっぱいになる	持ち終わる→?
読み終わる→知識が増える	眠り終わる→?
作り終わる→ケーキが完成する	話し終わる→?

- (1) 人間が家を持つことで起きている弊害を考えると、戦後日本が高度成長した原因って持ち家が無かったり、ボロボロだったりしたから、みんな家を持ちたくてがんばったんじゃないのか?つまりは家を持ち終わったから不況になったんじゃないか?

(<http://www.iwasb.net/cgi/natsumeblog/aerodrome/2005/12/>)

→「持ち終わる」はあまり言わないが、例(1)のように複数行為の場合は使われる。

- (2) お塩を持っている間の、変わったことでは、よく悪い夢を見ました。(中略) 不思議なことに、お塩を6週間持ち終わった後は、そういう夢みは無くなったかわりに、また元のごたごたが戻ってきています。(http://blog.mag2.com/m/log/0000114104/107486046.html)
- 例 (1) と違って、単一の行為である。例 (2) は塩を持つことによって「悪い夢を見なくなる」という目的が達成されるため「持ち終わる」が言いやすくなる。

#### 4. 内的情態動詞

##### ・思考動詞

思考動詞のうち、「考える」、「祈る」は「～終わる」との共起が比較的多い。

- (3) 今回の高校生クイズに参加した筑駒チームはわずかに8チーム。しかもクイ研の統率も取れず、第1問目を考え終わるとさっさと会場に行くチームも現れたほどであった。

(http://www.yamikoma.com/quiz/quiz-news/quiz-news.cgi?date=2002.07.24

→「答えが分かる」という目的の達成。

一方、「思う」、「疑う」は「～終わる」との共起数が少ない。

→「思う」、「疑う」は心に自然に生じる静的な性質のもので、その後の目的が想定されにくい。ため、「動作の終了点」が想定しにくい。

・感情動詞 →全体的に「～終わる/～終わる」との共起が制限される。

- ① 感情動詞のうち、「悩む」は「～始める」、「～続ける」との共起が比較的多く、とりわけ「～始める」との共起が多く出現する。

→「悩む」は継続動詞で動作の幅が感じられるため、「～始める」と共起しやすい。

- ② 「憧れる」、「耐える」、「諦める」は「～続ける」と共起できるが、「～始める」と共起しにくい。「憧れる」は動作の成立が瞬間的なため、「～始める」と共起しにくい。一方、「耐える」、「諦める」は変化の達成点に至るまでの過程が必要であり、「耐え始める」、「諦め始める」は極限に到達するまでの変化の開始を表す。

- (4) 中3の頃から私はお笑いに興味を持ち、「芸人」というものに憧れ始めていた。

→ (憧れを持ち始める)

- (5) 「辛いよ」って泣いて訴えたところで、どうにもならないことを知ったならば、泣いていてもしかたないんだって思うでしょう?そして、耐え始める…一人で耐え始める…受け入れ始める。→ (辛さを受け入れ始める)

- ③ 「驚く」は「～始める」、「～続ける」と共起しにくい。

→「驚く」は瞬間動詞であるため、「動作の開始」=「動作の終了」であり、「動作の継続」を想定しにくい。ただし、例 (6) のように複数の行為の文脈の場合なら言いやすくなる。

- (6) 「神麻嗣子の超能力事件簿」の最初の事件である表題作をはじめ、“密室”をテーマにした6作品を収録! 奇想天外の連続に驚き続けること確実な、シリーズ 初の連作短編集。

(http://www.asahi-net.or.jp/~ue4k-ngt/bnavi/nishizawa.html)

- (7) 初めて自分の不可解な可能性に気がつきはじめたのだ。誰もが1週間での完治も困難と思

われた。次の日に完治していた、着くことさえも困難だった妻が1バン驚いた。やや暫くして、自分もその可能性に疑惑を感じながらもじわじわと驚き始める・・・

(<http://d.hatena.ne.jp/Hai/>)

→「～始める」との共起で、「驚き」に幅が生じる

## 5. 静態動詞

存在動詞は「～続ける」とは共起するが、「～始める」、「～終わる/～終わる」とは共起しにくい。

(8) 地球が存在する→単に状態を表す。

(9) 地球が存在し続ける→地球が無くならない、終わらないことを表す。

## 6. まとめ

図1 外的運動動詞

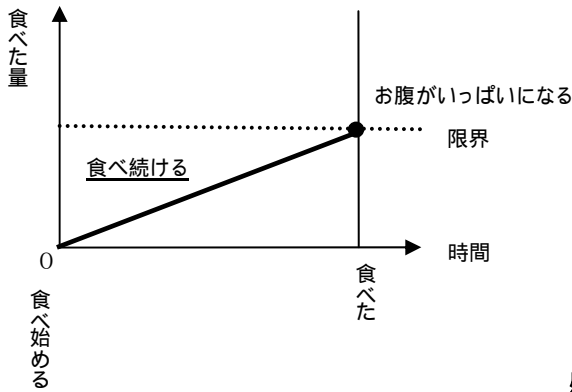
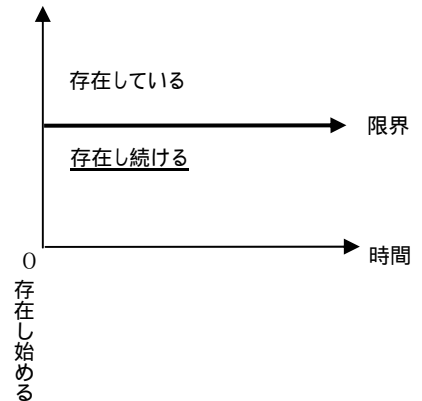


図2 静態運動動詞



## 感情動詞

図3

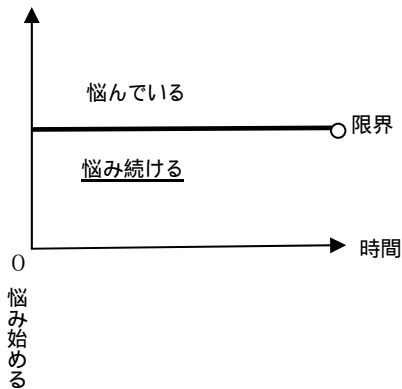


図4

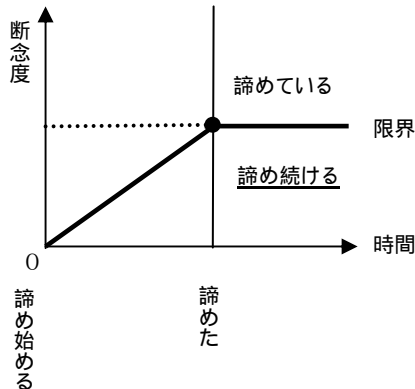
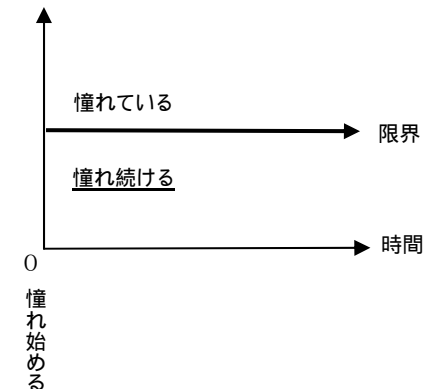


図5



## 参考文献

- 工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテキスト-現代日本語の時間の表現-』 ひつじ書房  
 大友 麻子 (2005) 「アスペクト関数としての cut と「切る」」 『レキシコンフォーラム』 NO.1 pp. 201-230  
 三原健一 (2000) 「日本語心理動詞の適切な扱いに向けて」 『日本語科学』 8、国立国語研究所 pp. 54-75